

○神奈川県川崎市「こどもまんなか社会の実現に向けた取組について」

川崎市では、こどもの意見表明を支援する取り組みとして、川崎のまちを良くするためのアイデアを募集する「子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～」を設置し、市のホームページやG I G A端末などインターネットを活用し、こどもたちが普段から市に対して想っていることと感じていること、川崎のまちを良くするためのアイデアなどの意見聴取に取り組んでいます。届いた声は、市政運営の参考意見とし、市長が1つ1つに目を通し対応方針を示し、各部局が対応しています。そして、市長が毎月、届いた声の中から1通に対してメッセージを発信しています。

川崎市のこどもの声を聞く募集箱については、市長が自らこどもの意見を聴くことを定期的に行っており、また、それに対してメッセージを送っていることが非常に良い取り組みであると感じました。



神奈川県川崎市

○その他の視察先と視察目的

静岡県藤枝市「福祉分野と連携した生活交通の確保策について」

東京都文京区「令和7年度未就園児の定期的な預かり事業について」

東京都日野市「発達・教育支援センター「エール」について」

○愛知県瀬戸市「地域資源を活かした官民連携による地域活性化について」

瀬戸市では、全国最大級の陶磁器イベントである「せともの祭」について、大せとものまつり協賛会という組織を設け、瀬戸市、商工会議所、観光協会が主な事務局として活動しています。

市は施設の借用、駐車場調整、広報などを担当し、観光協会は清掃活動やPR活動、イベント企画を実施しています。また、商工会議所は行事の取りまとめを行っています。このように3団体が一体となり、それぞれが役割を分担しながら情報を共有し、多くの関係機関と協力することで、36万人が来場する大規模なイベントを大きな問題もなく運営しています。

また、せともの祭開催前に、市民や企業が参加する清掃活動を行うなど市民や企業が一体となって祭りの準備を進めており、本市においても、参考になる点が多くありました。



愛知県瀬戸市

○その他の視察先と視察目的

群馬県前橋市「農業集落排水事業の在り方について」

静岡県富士市「立地適正化計画について」